

教科(科目)	家庭 (家庭総合)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年必修
使用教科書	教育図書 「未来へつなぐ 家庭総合365」				
副教材等	教育図書 「未来へつなぐ 家庭総合365 マスターノート」 教育図書 「LIFEおとなガイドデジタル+」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成します。 ① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。 ② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。 ③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。 ④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。 ① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。 ② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組みます。 ③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。 ④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。

2 学習目標

生活の営みに係る考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、男女が協力して主体的に家庭や地域生活を創造する能力を育成することを目指す。

- (1) 人の食生活、住生活、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むための必要な基礎的な理解を図るとともに、それに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、実践を評価・改善するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養うようにする。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3 指導の重点

進学・就職等希望進路が様々であることから

- ① 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住などについて生活を主体的に営むために必要な理解をはかるとともに、それにかかる技能を身に付けることを目指します。
- ② 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養います。
- ③ 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養います。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭生活に関する基礎的な知識と生活に活用できる技術を身に付けている。食と健康の関わりについて知り、食事の大切さを理解している。	・家庭生活の充実向上を図るための課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。家庭科の各分野において自分の意見をまとめ、適切な方法で発表している。	・家庭生活について関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けようとしている。 ・学習を通して得た知識・技術を活かして、生活の課題を見だし改善しようとしている。

5 評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以下の観点を踏まえ ・定期考査の分析 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	B編 第1章 食生活と健康	なぜご飯を食べるの？ 私たちは何を食べているの？ 基礎調理	・なぜ毎日食事をとらないといけな いのかを考えさせる ・食生活を見直し、食と健康の大切 さを理解する ・年齢別の食事の注意点を理解し、 健康な食生活を過ごす ・食品に含まれる栄養素を取り入れ たときに体内で代謝することを知る	6	課題プリント、提出 物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
5			・食品からどのように栄養が取り入 れ、どのようにして消化・吸収され ているかを知る	3	課題プリント、提出 物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
	定期考査			1	・定期考査の分析
6	B編 第1章 食生活と健康	日常食実習	・栄養素以外に水もからだに重要で あることを知る ・健康をサポートする食品を知る	9	課題プリント、提出 物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
7	定期考査			1	・定期考査の分析
	B編 第1章 食生活と健康	安全に食べよう 洋食調理	・加工食品の中身を知る ・生鮮食品を見極める ・食物アレルギーの知識を知る ・食品の保存方法、安全管理を知り、 食中毒を防ぐ	4	課題プリント、提出 物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
8		健康に食べよう	・自分の食品群別摂取量の目安や食 事摂取基準を確認し、何をどれだけ 食べればよいかを知る	2	課題プリント、提出 物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み

9		中華調理	・調理実習を経験することにより、基本的な知識と技能を身に付けさせる	6	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
10	定期考査			1	・定期考査の分析
	C編 第1章 生活における経済の計画	将来に向けて家計を考えよう 将来の経済計画を立ててみよう	・収入と支出の成り立ちを学ぶ。給料明細を見て、実際にもらえる金額や各項目の意味を理解する ・ライフプランに応じた資金計画の大切さを知り、生涯を見通した経済計画と家計の管理の重要性について理解する ・家計の管理と経済計画について、ライフステージごとにかかる費用や、社会保障制度などと関連づけて考え工夫する	5	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
11	C編 第2章 消費生活と意思決定	何をどうやって買う？	・さまざまな発信源となる生活情報があることを理解し、情報を活用する力（メディアリテラシー）を身に付ける ・契約が成立するのはいつか理解する ・クレジットカードの仕組みを理解し、消費者信用とは何か考える ・さまざまな決済方法について、それぞれのメリット・デメリットを整理し、自分に合った利用方法について考える	6	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
12	定期考査			1	・定期考査の分析
	C編 第2章 消費生活と意思決定	かしこい消費者になろう	・消費者問題について、悪質商法など具体的な事例を調べ、その手口などについて考察する ・消費者保護に関する制度などを理解し、消費者問題にあったときの具体的な対応を学ぶ ・消費者の権利を守る法律や制度について調べたり、その背景を考える ・キャッシュレスが普及した背景や、国による違いなどを調べて理解する	5	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
1	B編 第3章 住生活と住環境	どのような家に住みたい？ 安全に住もう	・4つの生活空間とその役割について理解する ・家庭内事故や火災、犯罪を防ぐために生活の中でできる備えについて知る	6	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み

2	B編 第3章 住生活と住環境	快適に住もう	・ライフステージや動線を考慮しながら、平面図を読み取ったり、書いたりする ・快適な住み方を実現するために生活の中でできることを知る	3	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み
	定期考査			1	・定期考査の分析
3	B編 第3章 住生活と住環境	住まいの課題と未来の暮らし	・人口減少によって起こる住まいの問題や、持続可能な住み方の例を調べる	4	課題プリント、提出物の内容の確認 ・課題の提出状況 ・授業の取り組み

計64時間 (55分授業)

7 課題・提出物等

- ・授業プリントは学習活動の記録として大切です。また課題への取り組みやプリントの記入内容も重視します。
- ・実習については、毎時間の取り組み状況と作品の完成度を重視します。
- ・すべての提出物は、最後まで丁寧に取り組み、提出期限を守って提出してください。

8 担当者からの一言

「家庭総合」は、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目的としています。自分の生活を振り返り、よりよい生活が営めるように、自立に向けた学習になるよう、主体的に取り組ましましょう。